



議 長	事務局長	次 長	局 買
菅野 喜明	佐藤 清壽		佐藤 清壽

令和 6 年 3 月 31 日

伊達市議会議員 菅野 喜明 様

会派名 日本共産党伊達市議団

代表者氏名 佐藤 清壽



令和5年度政務活動費収支報告について

伊達市議会政務活動費の交付に関する条例第7条の規定に基づき、別紙のとおり
令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

別記様式その2（第7条関係）



令和4年度政務活動費収支報告書

会派名

日本共産党伊達市議団

代表者氏名

佐藤 清壽



1 収入

政務活動費 720,000円

利子 3円

2 支出

科 目	金 額	備 考
研修費	0	
調査研究費	0	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
広報費	176,137	
広聴費	550	
事務諸費	30,384	
その他の経費	3	
合 計	207,074	

備考 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 収入支出差引残額

512,929円

出納簿

(No. 1/1)

様式第3号(第3条関係)

会派(議員)名	日本共産党伊達市議団
---------	------------

支 出 総 括 表

費用区分「広報費」

(1 / 1)

整理 番号	支払年月日	支払先	経費の内容	金 額	備考
2	R5.5.29	阪内印刷	市議団ニュース5月発行 印刷・新聞折込代金	176,137	
	計			176,137	

※ この総括表は「費用区分」ごとに作成し、合計額を収支報告書に転記する。

様式第1号（第3条関係）

会派(議員)名	日本共産党伊達市議団
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員
		

整理番号	2		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 <u>広報費</u> 広聴費 事務諸費 その他の経費		
支払年月日	令和5年5月29日	支出額	176,137 円
経費の内容	市議団ニュース5月発行(市政報告)印刷・新聞折込み代金。 (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄 (貼りきれないときは裏面へ)			

No. _____

領 収 書

日本共産党伊達市議団 様 令和5年5月29日

月 日	品 名	サイズ	数 量	@	金 額	摘 要
5/27	伊達市議団ニュース	B4	13650枚	7	109,550	
	26					
	新聞折込料	B4	14450枚	3.5	50,575	
	消費税				16,012	
	合 計				176,137	

上記の金額正に領収致しました。



一般事務用印刷からカラー印刷まで

阪 内 印 刷

阪 内 荘 一

福島県伊達市梁川町字小梁川10

TEL (024) 577-0318

FAX (024) 577-0558

物価の高騰 新型コロナウイルス感染症 大軍拡・大增税 安心して暮らすために、市民の暮らしを守る市政を

伊達市議会
市政報告

日本共産党

伊達市議団ニュース

No.26

発行 2023年5月
日本共産党
伊達市議団

TEL・FAX
024(529)7821
(事務所)

物価高騰から

市民生活を守る施策を

昨年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻、原油価格の高騰等で生活必需品の高騰が続いています。また、新型コロナウイルス禍もあり、長期の経済低迷が続く下での物価高騰は、私たちの暮らしに深刻な影響を及ぼしています。

政府の物価高騰対策は、ガソリン、電気・ガスなど部分的・一時的なもので焼け石に水です。あらゆる分野で起きている物価高騰から、市民生活を支える市の施策が必要だと思っています。

日本共産党伊達市議団は、困窮者や子育て世帯への支援を求め、幼・保園と学校給食費の物価高騰分への補填や、福祉灯油事業の拡充（増額やガソリン利用可等）などを進めることができました。

これからも、給食費の無料化や困窮者支援、子育て世帯の負担軽減などの施策を前進させられるように取り組んでいきます。

※ 請求期限の締め切りは定められていません。

原発事故の賠償基準見直し 東京電力が追加賠償へ

◆ 原発事故被害に関する中間指針第五次追補の趣旨や考え方を踏まえ賠償額が見直しされ、伊達市の場合、見直し後の賠償額は一人あたり20万円になりました。

◆ 原発事故後、ほとんどの人が東京電力から計12万円の賠償金を受け取り済みになっていると思われるので、差し引き8万円が追加で受け取れる賠償額になります。

※ ただし、訴訟やADR等で賠償を受けた人は対象外になります。

請求手続きは・・・

※ ①、②ともに前回の賠償請求で登録した電話番号、口座番号が必要です。

① 書類で請求する場合

世帯構成の変化や、住所の変更がある場合は事前確認が必要になります。東京電力の専用相談窓口 0120-926-470（月～金9時～19時 土・日・休祝日9時～17時）に連絡して、現住所が確認された後、必要書類等が順次郵送されます。

② ウェブで請求する場合

前回請求時の世帯代表者のみがウェブ請求可能。
4月10日から受付が始まっており、世帯構成の変化や住所変更がある場合でも、パソコンやスマートフォンから変更登録等をすれば手続きを進められるようになります。

◇ 請求手続きが無い場合、東京電力で郵送先住所が確認できた人から順次、案内のダイレクトメールを5月下旬以降、郵送とのこと。対面での相談窓口は【福島市森合町14-11 電話0120-925-097】【川俣町大字鶴沢字馬場8-1 電話0120-925-097】。

不明なことは東京電力の専用相談窓口 0120-926-470（月～金9時～19時 土・日・休祝日9時～17時）へ。

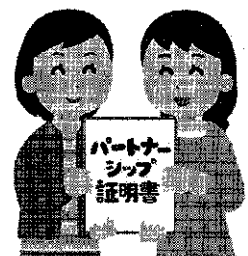
パートナーシップ・ファミリーシップ制度導入の伊達市へ

パートナーシップ・ファミリーシップ制度とは、同性同士の婚姻が法的に認められていない日本で、自治体が独自にLGBTQカップルに対して結婚に相当する関係とする証明書を発行し、様々なサービスや社会的配慮を受けやすくする制度です。家族として暮らしている子ども（未成年）がいる場合は、子どもを含めた家族として認められます。

制度導入で受けられるメリットは、病院で家族と同様の扱いを受けられる、公営住宅への入居に家族として入居可能、生命保険の受け取り人に指定することができる、民間の家族割などがあります。

LGBTQへの理解が進む現在、東北では青森、秋田が県で、岩手県は一関市が同様の制度を導入しています。制度導入を求めた共産党市議団の一般質問で、伊達市は令和5年度の導入を目標として取り組むと答えました。

障がい者や性的マイノリティなど、どのような人も尊重される共生社会を実現する施策の一つとして、早期に実現するように後押ししていきたいと思っています。



子育て世帯の負担を軽く

コロナ禍による経済停滞や物価高騰等で、子育て世帯の負担が益々重くなっています。県内49市町村の83%が給食費の無料化や一部補助を実施していますが、伊達市は未だに実施に踏み出そうとしません。市議団が求めた物価高騰分の補填はしていますが、やはり、子育て世帯から望む声が多い、給食費や教材費の負担軽減という直接的な支援をしていくべきです。

政府が進める大軍拡・大增税はストップを

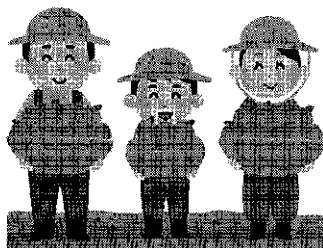
岸田政権は安保3文書で「敵基地攻撃能力の保有」を閣議決定しました。これにより、アメリカから大量の兵器を購入することに歯止めがなくなり、今後5年間で防衛費を43兆円に増額して、その財源を大增税や社会保障・教育費の削減で賄おうとしています。これでは、コロナ禍や物価高騰で国民生活が疲弊しているのに、暮らしは苦しくなる一方です。

いまやるべきは、防衛費の増額ではなく国民の暮らしを最優先に考え、社会保障や教育・子育て、少子化対策の予算こそ大幅に増額して国民の暮らしを応援することではないでしょうか。

農家の経営が持続可能な伊達市に

食料自給率が過去最低の37%に落ち込んだのに加え、ロシアによるウクライナ侵攻の影響で、肥料など資材費の高騰が農家の経営をこれまで以上に苦しめています。

伊達市の基幹産業である農業を衰退させず、農業に携わる方々を支えるためにも、新規就農者支援事業補助金の要件緩和など、中小・家族農家の経営が持続可能になるような支援制度の拡充を求めました。



補聴器購入への補助を

高齢化に伴う加齢性難聴は生活の質を落とし、鬱や認知症リスクも高めます。補聴器購入の補助を実施している自治体は現在114で、昨年比で3倍になり今後も増えることが予想されます。補聴器購入の補助を求めた市議団の一般質問に、市は前向きな答弁をしましたが、鬱や認知症リスクの軽減や生活の質を落とさないために、引き続き補聴器購入補助の実施を求めています。

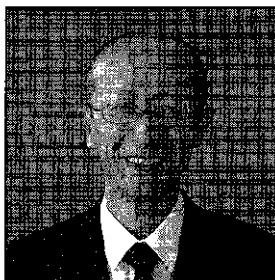
デマンド交通の改善を

民営路線バスの廃止や再編など、民営公共交通の不便さや高齢でも免許を返納しては生活できないため、やむを得ず運転している場合もあり、デマンド交通（まちなかタクシー）の利便性向上が求められています。聴覚障がい者でも利用しやすい配車の依頼方法や、乗り継ぎの不便さ、低料金への見直し、土・日・祝も利用できるように等、一般質問で改善を求めました。市は、運行主体と予約窓口の一本化、運行エリア見直し、運賃体系や運行ダイヤの見直し等について、現在検討を行っていると言いました。

やながわ工業団地 バイオマス発電所

市議団はこれまでの間、建設の中止や、市による地下水の揚水試験などを求めてきましたが、国の認可は下りているため建設が進んでいます。市議団は建設中止を求める立場に変わりありませんが、稼働後の地下水や排出される有害物質等がどのようになるのかを監視していくには、市・市民・有識者で構成された監視組織の体制や事業者との実効性がある協定締結、市の条例制定等が必要ではないかと考えます。

梁川地域の市民は、健康や自然環境、農作物への影響等々、不安を抱えています。市は建設を止めることができないならば、市が主体になり監視組織を構成し、実効性のある協定やそれを担保する条例制定等を実行していくべきです。

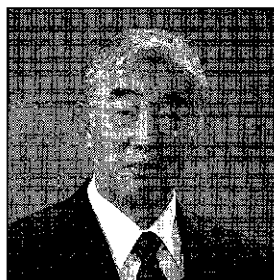


日本共産党伊達市議会議員

近藤 真一

文教福祉常任委員（委員長）

Tel 090-2745-1173
Fax 024-529-7821(事務所)



日本共産党伊達市議会議員

佐藤 清壽

産業建設常任委員
伊達地方消防組合議会議員

Tel・Fax
024-586-3237

支 出 総 括 表

費用区分「広聴費」

(1 / 1)

整理 番号	支払年月日	支払先	経費の内容	金 額	備考
6	R6.3.4	伊達市民クラブ	議会報告会 お茶代金	550	
計				550	

※ この総括表は「費用区分」ごとに作成し、合計額を収支報告書に転記する。

様式第1号（第3条関係）

会派（議員）名	日本共産党伊達市議団
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員
		

整理番号	6		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 広報費 広聴費 事務諸費 その他の経費		
支払年月日	令和 6 年 3 月 4 日	支出額	550 円
経費の内容	議会報告会 お茶代金。 (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄 (貼りきれないときは裏面へ)			

領 収 書

令和6年 3 月 4 日

日本共産党伊達市議団
代表 佐藤清壽 様

幹事会派
会派名 伊達市民クラブ
代表 小野 誠滋 

領収額 550円

但し 令和6年2月7日、13日開催の議会報告会のお茶代金として
上記正に領収いたしました。

支 出 総 括 表

費用区分「事務諸費」

(1 / 1)

整理 番号	支払年月日	支払先	経費の内容	金 額	備考
7	R6.3.4	伊達市役所	タブレット通信料(R5年4月～ R6年3月分)	30,384	
	計			30,384	

※ この総括表は「費用区分」ごとに作成し、合計額を収支報告書に転記する。

様式第 1 号（第 3 条関係）

会派(議員)名	日本共産党伊達市議団
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員
		

整理番号	7		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 広報費 広聴費 <u>事務諸費</u> その他の経費		
支払年月日	令和 6 年 3 月 4 日	支出額	30,384 円
経費の内容	タブレット通信料（R5 年 4 月～R6 年 3 月分）。 (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄（貼りきれないときは裏面へ）			

※領収書貼付欄

納入通知書兼領収書

〒		(000000)	
住所			
氏名 日本共産党伊達市議団 代表 佐藤清 様			
		調定番号	039833
年 度	令和05年度	納付書番号	028772
担当課	000100 議会事務局		
金 額	30,384 円		
摘 要	タブレット通信料 (令和5年度分 2人分) (税率: 10% 30,384円 うち消費税 2,762円)		
会 計	01	一般会計	
款	21	諸収入	
項	05	雑入	
目	06	雑入	
節	08	雑入	
細 節 (細々節)	007-01	雑入	
納 期 限	令和06年03月14日		
上記の金額を納期限までに 納入してください。 (令和06年03月01日)			
福島県伊達市長		(伊達市)	福島県 伊達市 長之印
須田 博行		(T2000020072133)	
上記の金額を領収しました。		領 収 日 付 印	
福島県伊達市会計管理者			
分任出納員			
取扱金融機関			

(納付者保管)

支 出 総 括 表

費用区分「その他の経費」

(1 / 1)

整理 番号	支払年月日	支払先	経費の内容	金 額	備考
8	R6.3.15	伊達市役所	利子返還金	3	
計				3	

※ この総括表は「費用区分」ごとに作成し、合計額を収支報告書に転記する。

様式第 1 号（第 3 条関係）

会派(議員)名	日本共産党伊達市議団
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員
		

整理番号	8		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 広報費 広聴費 事務諸費 <u>その他の経費</u>		
支払年月日	令和 6 年 3 月 15 日	支出額	3 円
経費の内容	令和 5 年度政務活動費利子返還金。 (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄（貼りきれないときは裏面へ）			

※領収書貼付欄

納入通知書兼領収書

〒	960-0605	(009105)
住所	伊達市保原町字元町16番地	
氏名	日本共産党伊達市議団 代表 佐藤清 壽 様	
	調定番号	041091
年度	令和05年度	納付書番号 029717
担当課	000100 議会事務局	
金額	3 円	
摘要	令和5年度政務活動費利子返還金(日本共産党伊達市議団) (税率:10% 3円うち消費税 0円)	
会計	01	一般会計
款	21	諸収入
項	05	雑入
目	06	雑入
節	08	雑入
細(細々節)	007-01	雑入
納期限	令和 年 月 日	
上記の金額を納期限までに 納入してください。		
(令和06年03月12日)		
福島県伊達市長 (伊達市)		
須田 博行 (T2000020072133)		
上記の金額を領収しました。		領収日付印
福島県伊達市会計管理者		
分任出納員		
取扱金融機関		

(納付者保管)

※返納通知書兼領収書貼付欄

返 納 通 知 書 兼 領 収 書

〒	960-0605	(009105)
住所	伊達市保原町字元町 16番地	
氏名	日本共産党伊達市議団 代表 佐藤清 壽 様	
		伝票番号 000022 - 03
年 度	令和05年度	通知書番号 00000223
担当課	000100 議会事務局	
金 額	152,929 円	
摘 要	令和5年度政務活動費上半期分返納金	
会 計	01	一般会計
款	01	議会費
項	01	議会費
目	01	議会費
事 業	020564	政務活動費交付事業(自治体経営)
節	18	負担金、補助及び交付金
細 節 (細々節)	00201	政務活動費補助金
返 納 期 限	令和 年 月 日	
上記の金額を納期限までに 納入してください。		
福島県伊達市長 須田 博行		
上記の金額を領収しました。		領 収 日 付 印
福島県伊達市会計管理者 分任出納員 取扱金融機関		

(納付者保管)

※返納通知書兼領収書貼付欄

返 納 通 知 書 兼 領 収 書

〒 960-0605 (009105)					
住所 伊達市保原町字元町 16番地					
氏名 日本共産党伊達市議団 代表 佐藤清 様					
<table border="1"> <tr> <td>伝票番号</td> <td>000022 - 04</td> </tr> <tr> <td>通知書番号</td> <td>00000213</td> </tr> </table>		伝票番号	000022 - 04	通知書番号	00000213
伝票番号	000022 - 04				
通知書番号	00000213				
年 度	令和05年度				
担当課	000100 議会事務局				
金 額	360,000 円				
摘 要	令和5年度政務活動費下半期分返納金				
会 計	01 一般会計				
款	01 議会費				
項	01 議会費				
目	01 議会費				
事 業	020564 政務活動費交付事業(自治体経営)				
節	18 負担金、補助及び交付金				
細 節 (組々節)	00201 政務活動費補助金				
返 納 期 限	令和 年 月 日				
上記の金額を納期限までに 納入してください。 福島県伊達市長 須江 博行					
上記の金額を領収しました。 福島県伊達市会計管理者 分任出納員 取扱金融機関	領 収 日 付 印 				

(納付者保管)